

第2回 菊川市こども・若者参画協議会 で出た意見の整理結果について

第2回で出していただいた各意見を、基盤づくり・段階毎の取組・取組のアイデアの三つに整理し、こどもと若者が地域社会に積極的に関わるための具体的な方策をまとめました。

まちづくりへの参画促進：全体構成

本資料では、「菊川市こども・わかもの参画宣言」の実現に向けて必要な取組と視点を、以下の三つの大きな柱に沿って整理しています。

01

基盤づくり

意識改革・制度設計、居場所づくり、行政の取組を通じて、若者参画の土台を整えます。

02

段階毎の取組

①知ってもらい興味関心を高める
→②参加者になってもらう→③意思決定に関わる・実施主体になる、という段階的なアプローチにより若者参画を着実に進めます。

03

取組のアイデア

様々な主体とのコミュニケーションを通じて、多様性と包摂性のある地域づくりを目指します。

1 基盤づくり (1) 意識改革・制度設計

若者参画の基盤を整えるためには、まず意識と制度の両面から変革を進めることが重要です。

解像度を上げる

学生・若者の解像度を上げる
(大人・若者の双方が)

活動時間の確保

若者が地域で活動する時間を増やす

応援する土壌づくり

若者が地域でやりたいことを応援する土壌をつくる

世代間のリンク

若者、働き世代、高齢者の気持ち・考えをリンクさせる

壁をなくす

壁をなくす、交流の場をつくる

1 基盤づくり（2）居場所づくり・（3）行政

居場所づくり

<制度・運用>

- ユースカウンシルの設置（市公認化）
- 安全に交流できる場、安心していられる居場所

<施設・設備>

- 勉強や交流の場をつくる きくる2号館、公民館、地区センター
- 自然体験が安全にできる場
- 旧小笠町地区にも集まれる場所を
- がんばる場、活動する場だけでなくてくつろげる場（例：温泉等）

行政の取組

<コミュニティバスの活用>

- 若者も利用しやすい外観、デザインに
- 民間バスも含め、利用しやすい本数、ルート設計を

<その他インフラ整備>

- ごみ箱設置で綺麗な市内を保つ
- フリーWi-Fi
- こども・若者の活動相談窓口の設置（市役所組織として）

2 段階毎の取組（1）知ってもらい興味関心を高める

若者の地域での幅広い活動を市民・若者に知ってもらうことが第一歩です。

目につく団体紹介

- パネルの設置（例：きく
る）
- 活動や団体についての情報を学年集会くらいのレベルで伝えていく
- まちづくりに参加している若者からの情報発信

学校・世代別の発信

- 小中高 学校へ行って活動紹介
- 高大 ネット・SNSで活動紹介
- 高齢者 若者参画協議会をTVで流す

SNS・タイムリーな発信

- 高校のインスタ 事後報告ではなく企画の段階でストーリーにあげる
- SNSに早めに情報を出す
- こども若者参画宣言を参画協議会（行政・学校・学生・NPO）が広める

○学校の授業で地域・社会との繋がりを意識づけることも重要です。



社会とつながる授業



学校と市と地域が連携する



社会科や歴史の授業でまちの歴史を地域の大人が教える



小中学生が企業の大人、社会の大人と関わる機会を設ける

2 段階毎の取組（2）参加者になってもらう

興味関心を持った若者が実際に参加者となるための工夫と機会づくりが求められます。

意見聴取への参加

- こえのもりやアンケートへの回答
- 目安箱の設置

企画内容の工夫

- 勉強やためになる企画
- 色々な世代の人が参加できるイベント
- 複数のイベントを同時開催し一度の参加で色々な活動に触れられる工夫
- 子ども同士の関わり
（例：高大生が小中学生のみ参加のイベント開催等）

若者の発言機会を増やす

- 若者に会議へ参加してもらい、若者が参加できる機会を増やす
- 会議や委員会に出る人を毎回変える、いろいろな人に出してもらう
- 若者と地域の人との交流や対話の機会を設ける

2 段階毎の取組

(3) 意思決定に関わる・実施主体になる

参加から一歩進み、若者が意思決定の場に立ち、まちづくりの実施主体となることを目指します。



自治会運営への参画

- ・自治会運営に若者が参画する



市長へ直接伝える場

- ・市長へ直接伝える場の設定



ユースカウンスル・若者議会

- ・ユースカウンスルへの参加、若者議会による政策提言及び実現



魅力的な団体づくり

- ・魅力的な団体をつくる（既存の団体・活動への参画ではなく、新たに団体を立ち上げて活動）

3 取組のアイデア

(1) 様々な主体とのコミュニケーション

「提案する人と実行する人が話す機会をつくる」ことで、アイデアが実際のまちづくりへとつながる循環が生まれます。



国際交流

- 日本語を学びたい子どもの居場所作り
- 外国籍の学校と日本の学校の交流促進



障がいがある方とのコミュニケーション

- 障がいある子も楽しめるスペースを
- 朝活（視覚障害のため、車を運転する際には人通りの少ない朝早くに活動）



多世代交流

- おじいちゃん、おばあちゃんの流行を発信する場
- 大人のあたり前を教えてくれる機会



提案者と実行者

- 提案する人と実行する人が話す機会をつくる